

令和2年度「いちかわ・みんなで支え合いアプリ」



実証実験結果報告書

1. いちかわ・みんなで支え合いアプリとは

(1) システム構築の背景

現在の社会保障制度には、対象年齢や支援内容に一定の限度があり、日常生活に不便を感じている人がいる。ICTの活用により、多様なサービスを提供して不便を解消し、便利なスマートシティの実現を目指す。

(2) 実証実験の目的・内容

主に高齢者等を対象に、日常生活の支援及び社会参加の促進並びに地域経済の活性化を目的とし、生活上のちょっとした困りごとの解決や自分の時間の充実につながる情報をスマートフォンやパソコンなどで「簡単・便利・スピーディー」に検索できるシステムです。このシステムの活用状況、効果及び改善すべき点を確認し、実用化に向けた検証を行う。

(3) 期間

令和2年4月1日から令和3年1月31日（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により期間を4か月間延長 当初の予定は令和2年4月1日から令和2年9月30日）

(4) 委託業者

フェリカポケットマーケティング株式会社

2. 検証の方法

(1) 説明会等の開催時に事業者・団体へヒアリングを実施

(2) 事業者・団体と登録利用者へアンケート及びeモニアンケートを実施

3. 検証結果から見えてきた課題

- ①「アプリ」という名称にそぐわない等の意見（システムとしての限界）
- ②閲覧が実際の利用につながったか追跡が出来ず、ニーズ把握につながらない。
- ③一方で、行政が運営しているため安心感があるという意見。
- ④高齢者に限らず、全ての世代での展開を希望する意見。

4. 課題を見据えた対応

- ①「いちかわ支えあいネット」に名称変更（課題①）
- ②Google アナリティクス導入による使用状況分析（課題②）
- ③子育て分野既存のWEBページとのリンク、高齢者及び障がい者分野相談窓口の紹介（課題③と④）
- ④トップ画面、メニュー内容の見直し（課題①②③④）